

水産海洋地域研究集会

第12回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える
—湾内の干潟・浅場再生を考える—

共 催：一般社団法人水産海洋学会，三重県水産研究所，愛知県水産試験場，三重県総合博物館

後 援：三重県漁業協同組合連合会，愛知県漁業協同組合連合会

日 時：2016年12月3日（土）13：00～17：00

場 所：三重県総合博物館 レクチャールーム（三重県津市一身田上津部田 3060）

コンピーナー：清水康弘，羽生和弘，国分秀樹（三重水研），
蒲原聡，中村元彦（愛知水試）

総合司会：国分秀樹（三重水研）

挨拶：大関芳冲（一般社団法人水産海洋学副会長） 13：00～13：15

趣旨説明：国分秀樹（三重水研） 13：15～13：30

- 【テーマ1】豊かな伊勢湾再生に向けた干潟・浅場再生の重要性 座長：羽生 和弘
1. 伊勢湾シミュレーターによる干潟・浅場再生の重要性評価 13：30～14：00
永尾 謙太郎（いであ）
 2. 木曾三川河口部における人工干潟再生についての考察（仮題） 14：00～14：25
高田 智明（中部地方整備局木曾川下流河川事務所）
- 休 憩— 14：25～14：35

- 【テーマ2】近年の干潟・浅場再生事例 座長：中村 元彦
3. 名古屋港内の浚渫土砂を活用した干潟実証実験 14：35～15：00
三崎 隆央（中部地方整備局名古屋港湾事務所）
 4. 河川堆積土砂を活用したアサリ漁場造成事例 15：00～15：25
清水 康弘（三重水研）
 5. ダム堆積砂を利用した干潟・浅場の再生に向けて 15：25～15：50
蒲原 聡（愛知水試）
 6. アサリ漁場再生に向けた新たな覆砂の取り組み 15：50～16：15
南部 亮元（水産機構水工研）

【総合討論】 伊勢湾内の大規模干潟・浅場再生の推進について，課題と対策の整理
①湾内の土砂の現状，②有効活用の可能性，③湾内の関係者の連携について
座長：国分 秀樹（三重水研） 16：15～17：00

【閉会挨拶】 遠藤 晃平（三重県水産研究所長）
博物館展示見学：希望者のみ（団体割引料金） 17：00～19：00（閉館まで）

開催趣旨：近年「きれいな海」から「豊かな海」へと沿岸域のあり方について議論され，干潟・浅場再生の重要性が認識されつつある。しかし，大規模な干潟・浅場再生には，良好な生物生息環境を創出する技術に加え，造成適地の選定と良質な造成材料の入手が不可欠である。今後湾内で干潟・浅場再生を推進するためには，水産分野だけでなく伊勢湾沿岸域の関係者（港湾，河川など）による縦割りを超えた真摯な論議と統一的な行動が必要であり，干潟・浅場再生による海域環境再生や土砂の有効活用についての目標や方法を検討する時期であるといえる。本研究集会では，伊勢湾全域における干潟・浅場再生の重要性と関連機関で近年進められている干潟・浅場再生事例についてレビューし，大規模な干潟・浅場再生推進に向けた課題と方策について総合的な議論と整理を行う。